

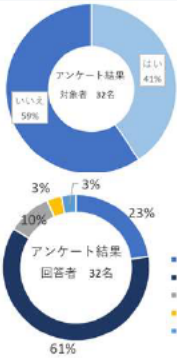
理解しやすい情報を共有するためには

クラス・チーム:EL305-6 担当 西川 幸延 先生
メンバー: [REDACTED]

テーマ選定理由

既存の災害通知手段がテキストのみが主体になっているため

現状調査(問題)



下の住所がどこかわかりますか?
『石川県野々市市扇が丘7丁目1』
答え:『金沢工業大学1号館』
約6割の人が『住所だけ』だと分からない
災害時、何で情報を得ていますか?
約6割の人がSNSで情報を確認している

図1 各種アンケート結果

ニーズの確認

	公共サービス	SNS
メリット	・情報が正確	・情報が速い ・画像・動画がある
デメリット	・テキスト主体 ・情報が遅い	・信頼性に欠ける

前提条件

対象者: 金沢工業大学生

現状値・目標値

配信内容の理解: 40%→70%

代表的既存策 残存問題点



既存策
Yahoo!防災速報
ほっとHOTメール
残存問題点
自治体からの情報をもとにしているため、SNSより情報が遅い

図2: 災害情報通知サービス(配信内容)
左 ほっとHOTメールのいち
右 Yahoo!防災速報

なぜなぜ分析結果



図3 なぜなぜ分析結果

課題解決のための アイデア創出

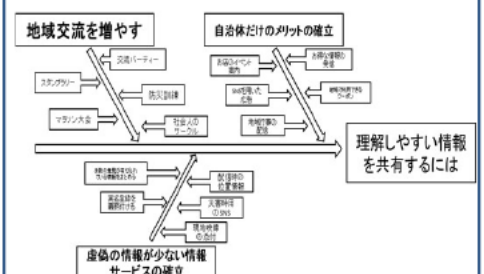


図4 特性要因図

創出したアイデア



名称
TOKUMEI 零
コンセプト
『信頼できるSNS』

図5 アプリ画面

長所

- ・実名での登録を行うため、悪意のある情報提供が困難
- ・ニックネーム表記が可能のため、闇雲に情報が出ない
- ・自治体・一般ユーザー問わず、配信可能

短所

- ・登録された個人情報の厳重な管理が必要
- ・登録の際、入力された情報を確かめる必要がある
- ・ユーザー数が情報量に直結するため、一部地域に情報が偏る可能性がある

活動のまとめ

・自治体からの情報より“早く信頼できる情報”を得られる

[出典] ほっとHOTメールのいち,

https://mail.cous.jp/public/public_infolog.php?community_no=10021&blankmail_no=1&flg_language=0&flg_password_use=0&password_no=&sitepolicy_flg=&token=6a163ddcd74a194008b72ad6969950e2d2114e99, 参照日2020年07月08日